

ENVIRONMENTAL and SOCIAL REPORT 2004

ごあいさつ

現在、地球環境が大きくクローズアップされています。産業革命以来、20世紀に至るまで無限で劣化しない地球を前提に経済社会が営まれてきた結果ではないでしょうか。特に20世紀後半の大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済システムは、確かに私達人類に便利で快適な暮らしをもたらしてくれましたが、一方で、地球環境に多大な負荷を与え、そのため社会経済システムと地球環境のバランスが崩れてしまい、この状態が今後も続くようであれば、人類の生存するための条件がこの地球から奪われかねない危機的な状況下にあるのではないかと考えられます。

21世紀は環境の世紀といわれていますが、国際的にも、日本においても色々と環境に関する法律や取り決めが整備されてきています。また最近では、京都議定書がロシアの批准決議で、2月に発効されました。今後ますます環境問題をめぐる動きが様々な分野で活発化、加速化することが予想されます。

このような中で、環境事業を営んでいます当社の役割は、以前にもまして大きなものになると考えています。当社の企業理念の一つに「私達は水と大気と生命(いのち)の惑星、地球を大切に、人間社会のライフラインを守ります」とあります。当社は創業以来、水に関わる分野で事業を行って参りましたが、近年では、環境分野においても事業を展開し、水関連製品と

環境関連製品といった社会資本の整備にも貢献しています。

最近では、当社がテレビCMの題材に取り上げています屋久島(1993年にはじめて世界遺産に登録)に炭化・電気溶融施設を建設する機会に恵まれ、当社の企業コンセプトである「人と自然の共生」をもとに屋久島にふさわしい「環境に配慮した資源循環型施設」を完成すべく技術を結集して建設を進めているところです。また、環境保全活動につきましては、主要事業所のすべてにおいてISO14001の認証取得を終えています。今後はさらに強力で省エネ、省資源、リサイクルなど環境保全活動を推進していきたいと思っています。

また、企業は地球環境を守り環境経営を進めていく中で、社会的責任を果たしていかなければなりません。最近では、利益だけでなく、どれだけ社会的責任を果たしているかによっても評価されつつあります。当社も経済・環境・社会の三側面のすべてにおいて、社会的責任を果たすべく取り組んで参りたいと考えています。従いまして、環境報告書につきましては、2004年版よりタイトルを「環境報告書」から「環境・社会報告書」と改めました。未だ十分なものではありませんが、今後とも企業の透明性をさらに高めていくとともに内容の充実に向けて参りたいと考えています。



株式会社栗本鐵工所 代表取締役社長 横内誠三

CONTENTS

ごあいさつ

環境の報告

環境基本方針と自主行動計画.....	2
環境マネジメントシステムと推進体制.....	3
環境負荷の低減.....	4
環境調和機器の開発.....	7
製品紹介 水.....	8
廃棄物.....	9
エネルギー.....	10
住環境.....	11
ライフライン.....	12

社会性の報告

コンプライアンスの推進.....	13
従業員とのかかわり.....	14
環境コミュニケーション.....	16

経済性の報告

会社概要.....	19
企業理念.....	19
クリモト組織.....	19
主要財務データ.....	20
主要事業所.....	21
工場.....	21
関係会社.....	21

編集方針と対象範囲

本報告書は(株)栗本鐵工所の継続的な環境活動、取り組みをより多くの方にご理解いただけるよう2000年版から発行し、今回で5回目の発行となります。

掲載内容については、数値データが2003年4月1日～2004年3月31日ですが、活動内容やトピックスにはそれ以降も含まれます。

数値データ等の集計範囲は栗本鐵工所の主要工場(7工場)ですが、環境製品、トピックス、活動内容等に一部グループ会社を含みます。

作成に際しては環境省「環境報告書ガイドライン」、GRI®の「サステナビリティ・リポートガイドライン2002」を一部参照しました。

対象読者は、当社のお客様、従業員、株主、学生、環境に興味のある全市民の方々です。

次回発行は2005年9月頃を予定しています。

お問い合わせ先:(株)栗本鐵工所 総合調整室 環境安全衛生部 高橋(昭)
TEL.06-6538-6241(直通)・FAX.06-6538-7750

*GRI(Global Reporting Initiative)は全世界で適用可能な持続可能性報告のガイドラインを策定し、普及させることを目的に1997年に設立された国際組織。「経済的」「環境的」「社会的」の3要素を重視する点が特徴。

クリモトの環境イメージキャラクターであるカッパは、水がきれいなところにしかいないとされる伝説の動物です。社内公募で「ささら」と名前をもらい、この報告書のポイントを説明してくれます。



環境イメージキャラクター「ささら」

環境報告書のバックナンバーやISO14001の取得状況はホームページでご覧いただけます。
<http://www.kurimoto.co.jp/company/enviroment.htm>

